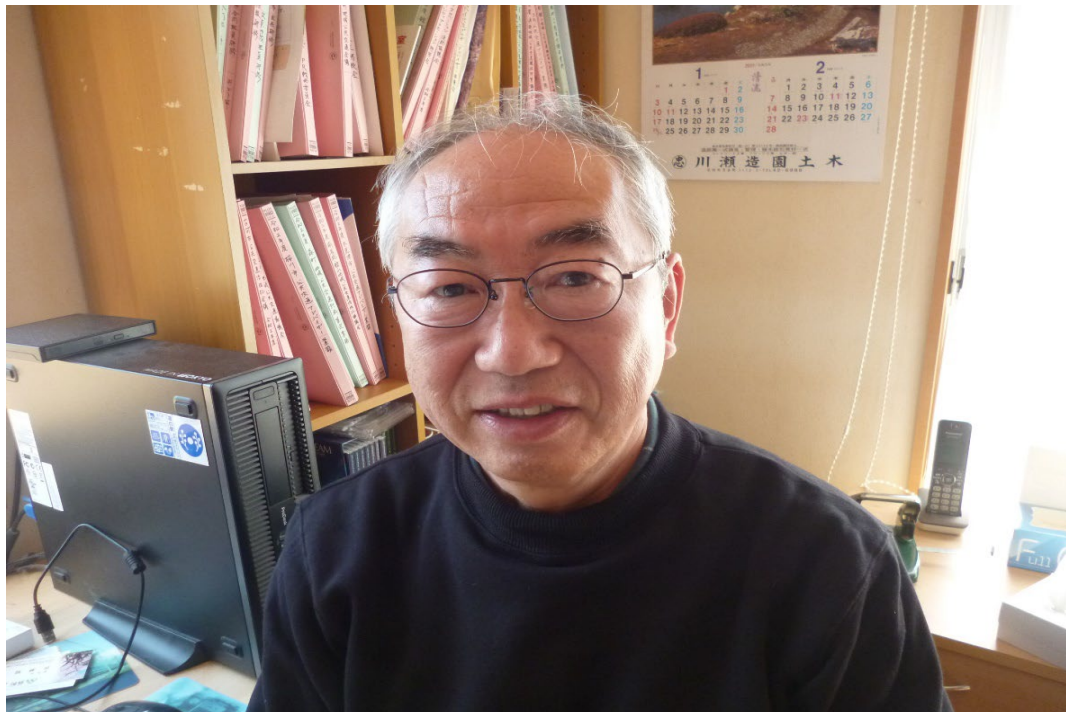


地域人材ネット

地域の活力を創る～地域自らデザインする、「つくり」「守り」「そだてる」地域公共交通づくりの実践

為国 孝敏 (ためくに たかとし)

NPO法人 まちづくり支援センター 代表理事



○ 登録者情報
所在地

栃木県足利市

略歴

1959年 北海道生まれ 1983年 日本大学大学院理工学研究科(交通土木工学専攻)修了
1995年 博士(工学)の学位取得(日本大学)
1983年 (社)土木学会、1996年 栃木県内の大学教授を経て、2006年 NPO法人まちづくり支援センターを主宰
2011年 国土交通省関東運輸局地域公共交通マイスター(現在)
2012年 国土交通省「平成24年度地域公共交通優良団体大臣表彰」(佐野市営バス「さーのって号」の取組)
2013年 ゆるキャラ@グランプリ2013 総合1位(佐野ブランドキャラクター「さのまる」)
2016年 交通コンサルティング会社 株式会社T.O.パートナーズ設立(代表取締役)
2017年 シティプロモーション自治体等連絡協議会 人材派遣専門家登録者
2019年 令和元年度「関東運輸局地域交通優良団体等表彰」(桜川市「ヤマザクラGO」等の取組)
2019年 群馬県館林市 日本遺産「里沼」地域プロデューサー兼全体コーディネーター

著書・論文等

【地域公共交通に関わる講演・セミナー・人材育成等の参加】(令和2年度活動実績)
関東運輸局、北海道運輸局、北見運輸支局、函館運輸支局、北陸信越運輸局、オホーツク総合振興局、檜山南部四町、渡島西部四町議会
【地域ブランドに関わる講演・セミナー・人材育成等の参加】(令和2年度活動実績)
秋田県鹿角市(講座)、愛知県みよし市(セミナー)、群馬県太田市(人材育成)、館林市(人材育成)、さのブランド認証委員会(委員長、栃木県佐野市)、山元ブランド認証委員会(委員長、宮城県山元町)

○ 地域の活力を創る～地域自らデザインする、「つくり」「守り」「そだてる」地域公共交通づくりの実践

取組の内容

人口減少、少子高齢化、人口流出、コミュニティや地域経済・産業の衰退、等々、縮小し続ける地域社会だからこそ、人ひとりの移動を真剣に考えることが必要です。そこで、地域住民、交通事業者、行政等、地域社会を構成する皆さんと一緒に考えて、地域の生活実態を理解し、地域にあったメリハリのある交通システムを選択し、持続可能な取り組みの指導・助言を行っています。

【地域公共交通に関する法定協議会等への参加】(令和2年度活動実績)
【委員】北海道津別町、千葉県香取市(会長)、千葉県南房総・館山地域、茨城県桜川市(副会長)、茨城県稲敷市、茨城県古河市、【アドバイザー】北海道釧路町、群馬県館林市外四町、千葉県木更津市、茨城県行方市、【広域協議会会長】茨城県・県南地域公共交通確保対策協議会、鹿行地域公共交通確保対策協議会
【地域公共交通に関わる法定計画への関与】
【総合連携計画】栃木県佐野市(指導、2012年度国土交通大臣表彰)、【網形成計画】作成業務・桜川市、稲敷市、群馬県太田市、釧路町、木更津市、香取市、【再編実施計画】作成業務：南房総市、稲敷市(調査)、桜川市(2019年関東運輸局長表彰)、【地域公共交通計画】館林都市圏(館林市外四町)、行方市、津別町、北海道北斗市、北海道森町、千葉県南房総・館山地域
【公共交通アドバイザー業務】桜川市、津別町、太田市、行方市、木更津市、館林市外四町地域公共交通会議



桜川市民を支える巡回ワゴン「ヤマザクラGOミニ」



地域交通に関する住民意見交換会(北海道津別町)

実績

佐野市観光入込客数:2001年度314万人、2007年度800万人、2013年度857万人

佐野市営バス:乗降客数2008年度5万8千人、2013年度11万6千人、収支率2008年度13%、2013年度27%

行政職員のまちづくり研修受講者総数1,200人強:2004年度から両毛市長会研修@24名、2005年度から太田市中級研修@30名、2008年度から東毛4市研修@60名、2013年度から館林邑楽地区研修@24名、ほか

工夫した点や苦勞した点

「自家用車で移動しているから、公共交通には乗らないし、自分には無くても困らない」という方がいらっしゃいます。地域には、子どもたちやご高齢の方、何らかの障がいをお持ちの方、運転免許や自家用車を持ってない方もたくさん暮らしています。その方たちにとっては、地域公共交通は、無くてはならないものなのです。地域社会を構成する皆さんが、お互いに理解し合い、支え合い、助け合って、そして地域を盛り上げていく、地域の魅力を高めていくことが必要な時代になってきました。地域の皆さんが自分事として共感していただけるように、地域に合わせた知恵と工夫を考えています。

ひとことPR

地域社会を構成する皆さんの話を伺いながら、地域の実情や課題を理解し、一緒に考え、そして皆さんと夢を語り合う。その中で何ができるか、自問自答しながら地域に合った解決策・アイデアを提供し、一緒に実践することを心がけて来ました。人口減少が進む時代だからこそ、また災害やコロナ禍を経験しているからこそ、明るく、楽しく、元気よく、地域が魅力的になるように、前向きに取り組んでいきましょう。気軽に声をかけて下さい。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
○ 地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

NPO法人まちづくり支援センター	http://www.pnc.gr.jp
関東運輸局地域公共交通マイスター制度	https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/kankou/meister/index.html
シティプロモーション自治体等連絡協議会	https://www.citypromotion.jp/

連絡先

メールアドレス	tame〔アットマーク〕pnc.gr.jp		
---------	-----------------------	--	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。